

2019年度の事業報告と決算報告

2020年1月15日

日本機械学会関東支部シニア会会長

村上 俊明

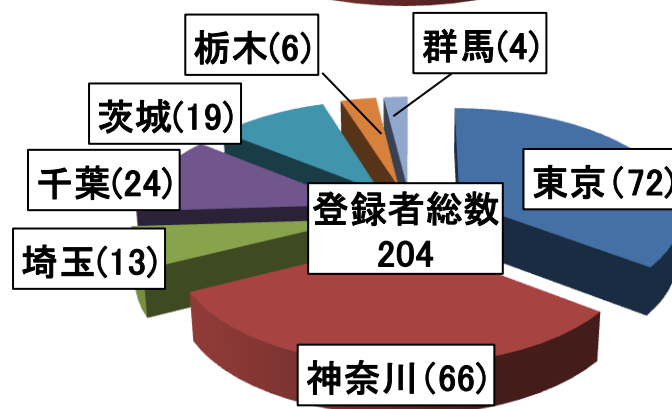
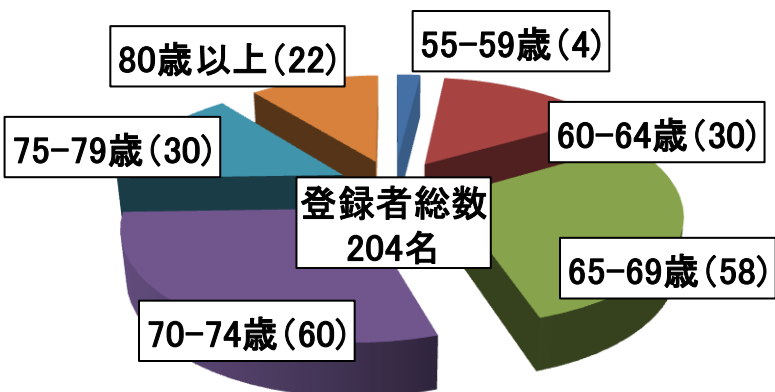
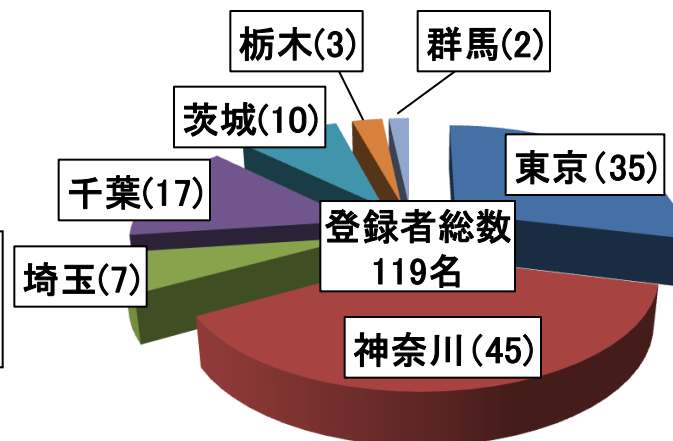
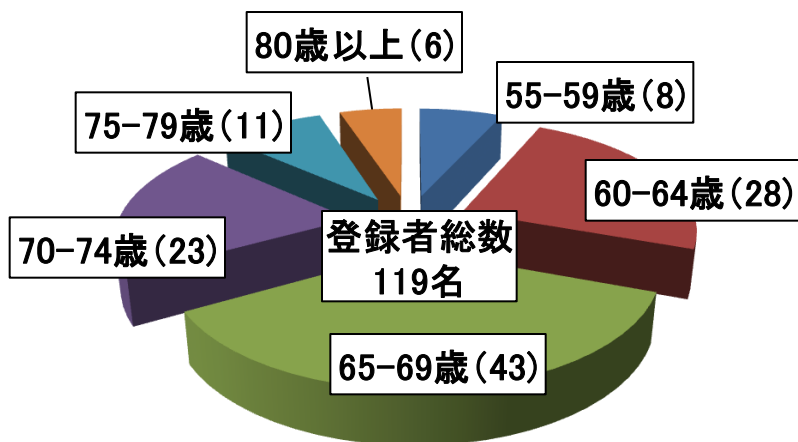
1. 関東支部シニア会登録者の現状
2. 関東支部シニア会規則
3. 2019年度運営委員会構成
4. 2019年度事業計画
5. 2019年度事業報告
 - ・2019年度事業報告一覧
 - ・学生員卒業研究発表会コメントータ
 - ・関東学生会とシニア会の交流会
 - ・シニア会2019年度第一回見学会
 - ・シニア会2019年度第二回見学会
 - ・シニア会2019年度交流会
 - ・シニア会2019年度特別講演会
6. 2019年度決算報告(暫定版)
7. 関東支部シニア会活動へのご支援・ご協力をお願い

関東支部シニア会登録者の現状(2020/1/15現在)

1. 55歳以上の関東支部会員に2015/5/25日付でシニア会設立趣意書と登録依頼メールを発送(締切は2015/6/30日)

2. 会員登録状況

- ・シニア会会員登録者は設立準備総会(2016/1/18)時点で119名
- ・その後、イベント開催などに伴い漸増(2019/5/31現在で184名)
- ・メカトップ資料にシニア会入会の勧めを同梱・PRLし、2020/1/15現在で204名



年齢構成

地域構成

(名称)

第1条 本会は日本機械学会関東支部（以下、支部）シニア会という。

(目的)

第2条 シニア会は会員相互の親睦・交流ならびに情報交換を図ると共に、学生・生徒や技術者への協力・支援を通じて、シニアの持つ経験、技術、知恵の継承に努めることにより、支部活動の支援や会員増強など、支部の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 シニア会は前条の目的を達するために次の事業を行なう。

- (1) シニア会総会、学生会との交流会、企業の技術者との交流会の開催。
- (2) 支部・学生会の要請による講師等の派遣、講習会等の企画・開催、小・中・高校生の理工系教育支援、ものづくり人材育成支援。
- (3) 中小企業に対する経営・技術支援。
- (4) その他シニア会の目的に沿う活動。

(事業年度)

第4条 シニア会の事業年度は3月1日から翌年2月末日までとする。

(会員)

第5条 満60歳以上の支部会員でシニア会会員登録をした者をもってシニア会会員とする。

2. シニア会会員は、シニア会に届出ることにより退会することができる。
3. 下記第7条の運営委員会が認めた者は、満60歳未満の者であってもシニア会会員とすることができる。
4. 下記第7条の運営委員会構成員は、満60歳未満の者であってもシニア会会員とする。

(組織)

第6条 シニア会は支部の下で活動する。

2. シニア会は重要な会務の処理のため運営委員会を設ける。
3. シニア会は事業の実施のため実務委員会を設けることができる。

(運営委員会)

- 第7条 運営委員会構成員は、会長1名、副会長若干名、幹事1名、運営委員(役職なし)若干名、監事1名、支部シニア会担当幹事1名、学生会担当幹事1名とする。なお、必要に応じて顧問を置く。
2. 運営委員会構成員は、シニア会会員の中から~~支部運営会~~シニア会運営委員会で選任し、支部運営会で承認する。ただし監事、支部シニア会担当幹事、学生会担当幹事は、支部運営会役員の中から支部運営会で選任する。また~~運営委員(役職なし)のうち若干名は、支部会員の中から支部運営会で選任する。~~
3. 会長は運営委員会構成員の互選により、副会長、幹事は運営委員会構成員の中から会長の指名により選任する。
4. 運営委員会構成員の任期は2年とし、再任は1回までとする。ただし、監事、支部シニア会担当幹事、学生会担当幹事の任期は原則1年とし、再任は1回までとする。

5. 支部との連絡および支部運営会への報告は支部シニア会担当幹事が当たる。

(実務委員会)

- 第8条 実務委員会構成員は、シニア会会員の中から運営委員会で選任する。

(総会)

- 第9条 シニア会総会は毎年会長が招集し、諸般の報告および議事を行う。
2. シニア会総会はシニア会会員の過半数の出席で成立し、出席できない会員は書面をもって議決権を委任することができる。この場合は、あらかじめ通知した事項については出席者とみなす。
3. シニア会総会の議事は出席会員の過半数で決め、可否同数のときは議長がこれを決定する。

(事業経費)

第 10 条 支部からの交付金および事業収入で支弁し、残額は支部会計に組み入れる。

(事業計画および収支予算)

第 11 条 シニア会会長は毎事業年度の事業計画および収支予算を作成し、支部運営会で承認を得たのちに、2 月末日までに支部長に提出しなければならない。

(事業報告および決算報告)

第 12 条 シニア会会長は毎事業年度の事業報告および決算報告を作成し、シニア会監事の監査を受け支部運営会で承認を得たのちに、2 月末日までに支部長に提出しなければならない。ただし、総会が事業年度終了以前の 2 ヶ月以内に開催されるときは直近の期日までの中間収支決算報告に期末における収支決算予測を加えて、当該事業年度の収支決算報告とすることができる。

(契約形態)

第 13 条 特定団体・企業等の支援にあたっては、日本機械学会シニア会通則に従うことを原則とする。

(規則の改正)

第 14 条 本規則の改正はシニア会総会で議決し、支部運営会の承認を得たのちに、支部総会で報告する。

附則

1. 本シニア会規則は 2016 年 3 月 10 日から施行する。
2. 2016 年 4 月 26 日一部改正
3. 2018 年 2 月 14 日一部改正

2019年度運営委員会構成

7/18

役職	氏名	所属
会長	村上 俊明	日本機械学会 元アドバイザー
幹事	野口 昭治	東京理科大学
顧問	本阿弥 眞治	東京理科大学
顧問	中山 良一	工学院大学
委員	嶋原 正義	中小企業ビジネス創造支援事業専門家
委員	高橋 昭夫	コンサルティング研究所
委員	中村 城治	中村技術士事務所
委員	笠井 憲一	元日立製作所
監事	吉村 卓也	日本機械学会関東支部第26期副支部長 首都大学東京
支部担当 幹事	塚田 竹美	日本機械学会関東支部第26期会員担当幹事 (株)本田技術研究所
支部担当 幹事	高橋 直也	日本機械学会関東支部第26期学生会担当幹事 東京電機大学

担当職員：滝本 真也(関東支部事務局)

1. シニア会総会・運営委員会

総会では当該年度の活動成果ならびに次年度の計画について報告し決定、付帯行事として講演会・懇親会を開催する

また、会務の企画・運営のために3か月に1回を目途に運営委員会を開催する

2. 支部活動に対する支援

1) 関東学生会卒業研究発表講演会への参加(2019年3月)

第58回講演会(千葉工業大学)へコメンテータ・BPA審査員として参加し学生との交流を図る

2) 理工系教育支援への参加

~~例年実施していた「おもしろメカニカルワールド(国立科学博物館)」は中止~~

3. 企業に対する技術支援(随時)

関東地区のものづくり企業への技術支援活動を実施する(継続議論)

4. 見学会・情報交流サロン(第1回6月, 第2回11月/12月予定)

特徴のある中小・中堅企業や研究機関の見学会, これに合わせて, シニア会員の情報交流会を開催する

5. 学生会との交流会

関東学生会会員校会の場を利用して交流会を開催する(6月)

6. シニア会主催の特別講演会(10月)

過去/現在/そして未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を開催する

7. シニア会主催のセミナーの開催(新企画 8月)

シニア会メンバーの活動相互紹介に関する交流会を開催する

2019年度事業報告一覧

9/18

3月18日	学生員卒業研究発表講演会16室に26名のコメンテータを派遣
6月1日	関東学生会会員校会に交流会を組み込み, シニア会紹介, 2件の体験報告と質疑応答を実施(学生会運営委員37名参加)
6月10日	第一回シニア会運営委員会(本年度活動方針, 各企画案などを審議)
6月24日	第一回見学会(科学未来館と都産業技術研究センター, 参加者18名)
8月23日	シニア会員が保有する技術・体験などの話題を順次紹介する交流会を企画し, 第一回は2件の講演と懇親会を実施(参加者34名)
10月8日	過去/現在/未来の時代を画す技術や話題に関する講演会を開催(今回は「F1世界一への挑戦」「マッスルスーツの創造」で参加者46名)
10月18日	第二回シニア会運営委員会(見学会, 来年度運営委員会体制などを審議)
12月5日	第二回見学会(京浜島の特徴ある中小企業「(株)北嶋絞製作所」「ムソー工業(株)」2社の見学会を実施(参加者16名)
12月20日	第三回シニア会運営委員会(シニア会総会企画, 今年度の活動成果, 来年度の体制と事業計画案, 収支決算と予算などを審議)
1月15日	関東支部シニア会総会を開催, 2014年度の「イグ・ノーベル賞」を受賞された北里大学の馬淵先生から特別講演(本日)を頂く

学生員卒業研究発表講演会コメンテータ(1/2)

10/18

日時:2019年3月18日(月) 9:00~15:00 場所:千葉工業大学

講演室	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
AM1 9:00~ 10:15	機械力学4	交通物流1	機械力学2	環境工学1	機素潤滑3	生産シス2	バイオ4	マイク1	設計工学1	機軸材料2 マイク1 情報知能1 産業化学1	機械材料3	材料力学5	流体工学4	熱工学1	熱工学1	流体工学2 材料力学1 熱工学1 動力エネ1	
	ロボメカ1	機械力学2	ロボメカ1	機素潤滑4	生産加工1	機素潤滑1	スポーツ1	スポーツ3	マイク2		機械力学1		熱工学1	流体工学3			
		ロボメカ2	交通物流1					生産加工1	機素潤滑1		バイオ1		バイオ2	材料力学1	宇宙工学1		流体工学4
AM2 10:30~ 11:45	機械力学3	ロボメカ4	交通物流4	機素潤滑4	設計工学1	バイオ4	バイオ3	バイオ4	マイク4	宇宙工学1 生産シス1 環境工学1 バイオ1 機軸材料1	機械材料4	材料力学5	熱工学2	流体工学2	熱工学3	動力エネ1	
	ロボメカ1		機軸力学1	環境工学1	機素潤滑1		生産加工2		ロボメカ1		マイク1		材料力学1	計算力学1	熱工学2	熱工学2	宇宙工学1
	技術と社会1	機軸力学1				機軸力学1		環境工学1	生産加工2		情報知能1		マイク1	材料力学1	計算力学1	動力エネ1	エンジン1
PM1 12:15~ 13:30	機械力学3	ロボメカ5	宇宙工学4	機素潤滑4	機素潤滑3	バイオ4	バイオ5	バイオ2	機械材料2	機軸材料4	機械力学1	機軸材料1	流体工学3	スポーツ1	熱工学2	流体工学3	
	ロボメカ2		ロボメカ1	生産加工1	生産加工1			計算力学1	設計工学1		バイオ2		マイク1	機械材料2	熱工学1	マイク1	流体工学2
		ロボメカ2		ロボメカ1	生産加工1	生産加工1		計算力学1	マイク2		情報知能1		マイク1	材料力学2加工2	エンジン1	流体工学4	動力エネ1
PM2 13:45~ 15:00	情報知能1	ロボメカ5	ロボメカ1	機素潤滑1 機軸力学1 生産加工2 ロボメカ1	機素潤滑2	情報知能1	設計工学1	設計工学1	情報知能1	機軸材料3	機軸材料2	流体工学5	流体工学5	流体工学5	熱工学2 エンジン1 マイク1 動力エネ1	熱工学4	
	ロボメカ2		宇宙工学4		生産加工2	バイオ4	バイオ2	マイク3	機軸材料3		材料力学2					材料力学3	動力エネ1
	機軸力学2						バイオ2	スポーツ2	バイオ1		マイク1					材料力学2	材料力学3
コメンテータ	2	1	1	2	2	1	2	1	1	2	2	2	2	2	1	2	

16室に26名のコメンテータが参加(聴講無料, 控室・昼食・交通費支給)

(コメンテータ感想・意見の抜粋)

1. 発表の様子

全体的に発表は上手でありスライドも工夫され十分に練習していると感じた
真摯な気持ちで発表していたので好感が持てた

研究の位置付け, 定量的な目標値などを明確にした発表が少ないと感じた

2. 質問の様子

部屋によっては学生からの質問も増えてきたようであるが全体的にはまだ少ない
複数コメンテータがいると学術的・事業的観点から多面的なコメントが行えて良い
冒頭コメンテータ参加との紹介が司会者からあったのでコメント・質問し易かった

3. 次年度に向けた意見

前刷りが白黒でデータが判別できないことが多く表示の工夫が必要と思う

今回はBPAの審査員も兼ねたが司会者・会場系の学生に徹底されてなく混乱した
今までのプログラムに比べ今回は各部屋の講演分野が分散し過ぎていると感じた

4. その他

スクリーンに向かって話す司会者もいたが聴講者に向かって発言すべきである
発表時のマイクの使い方, また, ポインターの使い方には指導が必要である

可能なら卒研発表会の単独開催がベターである(時間配分, 懇親会出席など)
BPAの採点表の工夫が必要と感じる(表面的な発表スキルに偏っていないか)

関東学生会とシニア会の交流会

12/18

日時：2019年6月1日(土) 14:30～16:00

場所：日本機械学会会議室

参加者：関東支部：河合支部長，山本学生会担当幹事，高橋学生会担当幹事

学生会：会員校会役員13名(先生)，運営委員37名(学生)

シニア会：村上会長，川嶋氏，笠井氏

内容：シニア技術者の経験や失敗談などを講演し学生諸君の将来の仕事の選択や業務についての考え方の一助にしてもらうとともに，シニアは交流会や懇親会を通して学生の考え方や，各種情報，若いエネルギーをもらうことを念頭に，下記3件の講演の後，質疑応答，懇親会で意見交換

①シニア会の概要と交流会の目的について 村上会長

②体験報告「建設機械用エンジンとの40年」 川嶋氏

③体験報告「機械系研究者/設計者として過ごした経験から」 笠井氏

当日は時間に限りがあったため，学生会からシニア会への質問事項を文章でもらい後日回答，来年度も会員校会の場で交流会を開催する予定である



村上会長



川嶋氏



笠井氏



会場の様子

シニア会2019年度第一回見学会

13/18

日時：2019年6月24日(月) 13:00～17:00, その後, 最寄り駅周辺で懇親会

場所：科学未来館, 東京都産業技術研究センター

参加者：見学会 18名, 懇親会 14名

1. 科学未来館(13:00～14:50)

最新の科学技術紹介や科学の交流をコンセプトとし2001年開館(館長:宇宙飛行士 毛利 衛 氏), 常設展示に加えロボット「アシモ」の実演や「マンモス展」などを各自自由見学

2. 東京都立産業技術研究センター(15:00～17:00)

都内中小企業の振興を図り, 都民生活の向上に寄与することを目的に, 産業技術に関する試験, 研究, 普及および技術支援等を行うために設立

今回は多くの研究テーマの中から, 3Dプリンター, IoT, ロボット事業化支援テーマについて重点的に見学

3. 見学後のアンケート結果

未来館に対しては「全体として題材が散漫で科学の本質的理解や興味につながるような深みが足りないとの感想, 産技研に対しては, 「先端研究の実用事例を知ることができた」という感想があった一方で, 「3Dプリンターはやや一般的な説明, IoTのパネル説明はやや具体性にかけていた」などの感想があった



科学未来館



産業技術研究センター

シニア会2019年度第二回見学会

14/18

日時：2019年12月5日(木) 13:40～17:00, その後, 大森駅周辺で懇親会
場所：大田区京浜島のものづくり企業2社((株)北嶋絞製作所, ムソー工業(株))
参加者：見学会 16名, 懇親会 14名

1. 北嶋絞製作所(14:15～15:15)

へら絞り加工において数多くの独自の先進技術の創造に取り組んでいる特徴ある中小企業で, 見学では各自へら絞りの体験実習も行い, ものづくりのおもしろさを再発見した印象に残る見学会であったとの感想



(株)北嶋絞製作所

2. ムソー工業(株)

材料試験片の製作を始めとして下町ボブスレーのランナーの3次元加工などにも取り組んでいる特徴のある中小企業で, 経営者の世代交代がうまく進められているとの感想



ムソー工業(株)

3. 見学後のアンケート結果

中小企業の生き残りに掛けた力強さを実感した見学会で良かったとの全員の感想であり, 高度で芸術的な技術・技能の伝承や後継者の育成が課題との意見

次回以降の見学会については, 航空機の整備工場, サービス・流通現場, 首都圏外郭放水路の機械室, 有明地区のオリンピック競技施設や選手村(オリンピック終了後)など, また, 二回目の開催時期は11月が良いとの意見があった

シニア会2019年度交流会(新企画)

15/18

日時：2019年8月23日(金) 15:00～17:10, その後, 講師を囲んだ懇親会を開催
場所：東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム
参加者：本会会員 34名, 懇親会 27名

1. 講演

シニア会員の貴重な技術・経験・体験などの話題を提供し
シニア会員相互の懇親を深める

1) 私のものづくり-自動車用鋳造設備から楽器づくりまで-

講師：佐伯 和良氏

自動車製造会社で夢の実現に向けて取り組んだ無人鋳造工場の設計・計画, 中小企業事業団での広域連携プロモータとしての活動, その後の手作りカヌーやオリジナル楽器などのものづくりへの取り組みについて紹介

2) 流転の技術者人生 講師:中村 城治氏

建機の研究開発からスタートし, バイオ研究のリーダー, 顧客との裁判経験, 営業部門のコンプライアンス監査とこれらの体験を踏まえた活動について紹介

2. アンケート結果

シニア会員が順番に話題提供するのは良いとの好意的な意見が大多数で, 今後, 年2回程度の開催を計画する



佐伯氏と楽器の一例



中村 氏

シニア会2019年度特別講演会

16/18

日時：2019年10月8日(火) 15:00～17:30, その後, 講師を囲んだ懇親会を開催

場所：東京理科大学 森戸記念館 第一フォーラム

参加者：本会会員 46名 懇親会 26名

1. 講演

過去/現在/そして未来のそれぞれの時代を画す技術や話題をシリーズで取上げることとし, 今回は2018年度に続き3回目

1)「F1世界一への挑戦」

(株)レーシングクラブインターナショナル代表 桜井 淑敏 氏
極低公害CVCCエンジンの開発から, F1世界一への挑戦に取り組み, 新しいエンジン概念の確立, 斬新なマネジメントシステムにより, 総監督として世界一を達成した経験を紹介



桜井淑敏 氏

2)「生きている限り自立した生活を実現する」ために: マッスルスーツ®の創造とビジョン 東京理科大学教授 小林 宏 氏
空気圧により駆動する筋力補助装置を開発し, 工場労働者や介護者の支援に取り組み, 大学発ベンチャーとして事業化したマッスルスーツの展開を中心に紹介(懇親会の場で実装体験)



小林 宏 氏

2. アンケート結果

両講演とも新しい技術に対する果敢なチャレンジであり, 聞いていてわくわくするような非常に有意義な講演会であったとの感想が述べられた

シニア会2019年度決算報告(暫定)

17/18

収入

費 目	決算額	
支部からの補助金	300,000	
合計	300,000	

支出

費 目	決算額	摘 要
旅費交通費	19,976	
総会会場費		
総会懇親会費		
総会懇親会参加費		
特別講演会費	117,227	
特別講演会懇親会参加費	-72,000	3,000 × 24名
見学会費	2,160	
交流会費	101,573	
交流会懇親会参加費	-75,000	3,000 × 25名
雑費	1,900	
予備費		
合計	95,836	

シニア会発足から4年が経過し、来年度から一部の運営委員が交代します(2年2期ルール)

退任される委員の皆様には、今までのご尽力・ご協力に厚く感謝いたします

引き続き、シニア会活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いたします！！